

上越市創造行政研究所（上創研）は、平成12年に設置された上越市役所の組織内シンクタンクです。当市のまちづくりを支援する調査研究機関として、人口データなどの分析や情報提供、フォーラムやワークショップの開催、調査研究による政策提言などを行っています。

Topic 01

定住支援コーディネーター研修を実施しました

>> 「定住支援コーディネーター」とは

令和5年度から取り組んでいる「持続可能な地区別まちづくり支援事業」では、**地域住民と行政（総合事務所）の協働により定住促進策を検討・実践するモデル地区を設定（令和5年度は大島・浦川原・牧区）し、ワークショップの運営補助や情報提供を通じて地区を支援しています。**

継続的に検討や実践に取り組まれている各地区をさらに支援するため、市では今年度、**大島区と牧区に専任職員の「定住支援コーディネーター」を配置**。研究所では、SNSを活用した地域情報の発信や移住者交流イベントの企画業務に必要なノウハウやスキルを習得する研修などを支援しています。

>> 6月18日(水) に定住支援コーディネーター研修を開催

第1回目の研修となる今回は、先進地である広島県三次市とオンラインでつなぎ、同市職員の永井さん、集落支援員の徳永さん、喜多嶋さんから移住・定住の取組についてお聞きし、意見交換を行いました。

意見交換では、地域との関係構築の工夫や移住者への寄り添い方、SNSによる情報発信の方法など具体的な事例が共有されました。地域住民が主役となり、行政と連携しながら「課題解決」から「価値創出」へとつながるまちづくりの重要性を学ぶことができました。



▲定住支援コーディネーター [左] 加藤さん（大島区） / [右] 草野さん（牧区）

【先進事例】 広島県三次市の主な取組

▶ 平成18年に「まち・ゆめ基本条例」を制定。**19の住民自治組織を設立し、各地区が「地域まちづくりビジョン」を策定し、これに基づくまちづくりを展開**しています。各支所等に住民組織の運営を支援する職員や希望する12地区に集落支援員を配置するほか、活動費等の支援を行っています。

▶ **吉舎地区では、住民自治組織と連携し、地域課題の見える化と移住定住促進を進める**ほか、移住見学や古民家再生を通じた拠点づくりにも取り組んでいます。さらに地域住民と移住者をつなぐ「きさIJUネット」を設立し、交流会を開催するなど、関係人口の可視化・つながりの強化にも注力しています。

▶ **河内地区では、空き家調査や地域情報の発信を通じて、住民との信頼関係を築き、移住・定住につながる活動**を展開。「集落支援員カフェ」など、住民同士が気軽に交流できる場づくりや、「お気楽リサイクル」（空き家の整理）を通じた住民支援を行い、暮らしに寄り添った支援を実践されています。

